

- 問1 サハラ砂漠の南縁に位置するサヘル地域において、砂漠化が急速に進行している直接的な人間活動の背景として、最も適切な説明はどれですか。
（2015年 千葉県公立入試 類似）
- 大規模な灌漑農業の実施による地下水の枯渇と塩害の発生
 - 人口増加に伴う食料不足を解消するための過放牧や過耕作
 - 工業化の進展による大規模な大気汚染と酸性雨の影響
 - 熱帯林の過剰な伐採による地力の低下と土砂の流出
- 問2 コートジボワールの輸出統計において、カカオ豆が輸出額全体の約28%と最も大きな割合を占めているような経済構造について、その名称と課題を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
（2022年 栃木県公立入試 類似）
- 工業製品の輸出を主とする加工貿易であり、輸入する原材料の価格高騰によって製品の国際競争力が低下しやすい。
 - 希少な鉱産資源の輸出のみに依存する資源依存型経済であり、資源が枯渇すると将来的に経済が立ち行かなくなる。
 - 特定の農産物の輸出に依存するモノカルチャー経済であり、天候や国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。
 - 国内の消費を自国の生産でまかなう自給自足経済であり、国際社会の経済変動による影響をほとんど受けない。
- 問3 緯度がほぼ同じアフリカの2つの都市について、低地にある都市では月平均気温が21度から34度という高温を示すのに対し、エチオピア高原付近にある都市では年間を通じて14度から18度程度と、冷涼な気候となります。このように緯度が等しくても気温に大きな差が生じる理由として、最も適切なものはどれですか。
（2019年 愛媛県公立入試 類似）
- 標高が高くなるにつれて気温が低下するため
 - 年間降水量が多いために地表の熱が奪われているため
 - 季節風の影響で乾いた風が吹き続けているため
 - 寒流の影響で冷たい空気が流れ込んでいるため
- 問4 サヘル地域において、砂漠化が進行する主な原因の一つである「過放牧」の説明として、最も適切なものを選びなさい。
（2025年 沖縄県公立入試 類似）
- 大規模な灌漑施設を建設して地下水を過剰に汲み上げ、毛細管現象によって地表に塩分を蓄積させること
 - 人口増加に伴い家畜を増やしすぎたことで、再生能力を超えて草を食べ尽くし草地を破壊すること
 - 農地を確保するために広大な熱帯林を焼き払い、その灰を肥料として利用した後に土地を放置すること
 - 化学肥料を大量に使用し続けたことで土壌の微生物が死滅し、土地が本来持つ生産力を失うこと
- 問5 サハラ砂漠の南側に位置する半乾燥地帯のサヘルでは、近年、砂漠化が急速に進行し、食糧不足などの深刻な問題が生じています。この地域で砂漠化が進んでいる主な背景として、自然要因以外で最も適切な説明はどれですか。
（2018年 岐阜県公立入試 類似）
- 熱帯雨林の急速な拡大により、土地の栄養分が奪われ土壌が劣化したため。
 - 工業化による酸性雨の影響で、乾燥帯特有の植生が枯死してしまったため。
 - 人口増加に伴う過放牧や、燃料にするための樹木の過度な伐採が行われたため。
 - 大規模な灌漑施設の建設により地中の塩分が地表に集まり、塩害が発生したため。
- 問6 ガーナやコートジボワールなど、ギニア湾沿岸に位置する西アフリカ諸国において、植民地時代にヨーロッパ諸国から持ち込まれたカカオなどの特定の農作物の生産と輸出に、国の経済が大きく依存している状況を何と呼びますか。
（2024年 山口県公立入試 類似）
- 公正貿易（フェアトレード）
 - モノカルチャー経済
 - 緑の革命
 - プランテーション農業
- 問7 アフリカの多くの国々で見られる、輸出総額の大部分を原油や特定の農産物といった、加工されていない一次製品の輸出に依存している経済構造を何といいますか。
（2020年 高知県公立入試 類似）
- モノカルチャー経済
 - 輸入代替工業化
 - 知識集約型経済
 - 循環型経済
- 問8 北緯9度、東経38度付近に位置し、アフリカ大陸の東部に属する国を次の中から選びなさい。
（2019年 埼玉県公立入試 類似）
- ウズベキスタン
 - オーストラリア
 - エチオピア
 - ブラジル
- 問9 世界各地で産出される鉱産資源のうち、リチウムやコバルトなどに代表される「レアメタル」の地理的な特徴と、産業における役割について述べた説明として、最も適切なものを選びなさい。
（2025年 栃木県公立入試 類似）
- 石炭や石油と同じ「化石燃料」の一種であり、主に火力発電の燃料として利用されることで、世界のエネルギー供給の主軸を担っている。
 - 鉄やアルミニウムと同じ「主要金属（ベースメタル）」に分類され、主に大型の船舶や橋梁を造るための主原料として利用される。
 - 地球上のあらゆる地域に均等に埋蔵されており、安価で容易に採掘できるため、建築資材として大量に消費されている。
 - 産出地が特定の国や地域に偏っているという特徴があり、スマートフォンや電気自動車などの先端産業を支える重要な資源となっている。
- 問10 ナイジェリアのように、輸出総額の大部分を原油や石油製品などの特定の資源に依存する経済構造を「モノカルチャー経済」と呼びます。このような経済構造を持つ国が抱える課題についての説明として、最も適切なものはどれですか。
（2019年 静岡県公立入試 類似）
- 人口が多いため国内での資源消費量が多くなり、輸出に回す余力がなくなる。
 - 資源の国際価格が変動することで、国の経済全体が大きな影響を受けやすい。
 - 工業化が進んでいないため、原油を精製して石油製品として輸出することができない。
 - 特定の資源の採掘に特化することで、他国との貿易摩擦が激化しやすくなる。
- 問11 2000年から2020年にかけてのアフリカ州における農業統計では、キャッサバなどの主要作物の生産量が大幅な伸びを見せています。この背景にある、生産量増加を実現した主な要因の説明として最も適切なものはどれですか。
（2024年 山形県公立入試 類似）
- 耕作地を広げる収穫面積の拡大と、単位面積あたりの収穫量を増やす生産性の向上の両方
 - 伝統的な焼畑農業のみによる耕作面積の維持と、化学肥料の使用を一切禁止する政策
 - 急激な人口減少に伴う食料余剰の発生と、先進国への輸出量の制限
 - 収穫面積を大幅に縮小させる一方で、バイオ燃料向けの特定作物への作付け集中
- 問12 アフリカ大陸における位置関係について述べた次の文のうち、世界の時刻や位置の基準となる経線について説明したものとして正しいものはどれか。
（2015年 富山県公立入試 類似）
- 日本の標準時を定める基準となる東経135度線である。
 - 大陸西部のギニア湾付近を南北に通過する本初子午線である。
 - 太平洋上を南北に通り、日付を調整する日付変更線である。
 - 大陸の中央部を東西に貫く赤道である。
- 問13 世界の大陸ごとの気候帯の割合を示した統計において、乾燥帯が四十六点七パーセント、熱帯が三十八点六パーセントを占め、乾燥帯の面積割合が最も大きいという特徴を持つ大陸はどこですか。
（2024年 栃木県公立入試 類似）
- 南アメリカ大陸
 - アフリカ大陸
 - 北アメリカ大陸
 - ユーラシア大陸

答え合わせ・解説

問1	答え 2 人口増加に伴う食料不足を解消するための過放牧や過耕作	サヘル地域では人口の急増により、自給用の穀物を得るための過度な耕作や、家畜を増やしすぎる過放牧が行われるようになりました。これにより、土地の再生能力を超えて植物が失われ、土壌が劣化することで砂漠化が進行しています。また、生活燃料として樹木を伐採することも砂漠化を加速させる要因の一つです。
問2	答え 3 特定の農産物の輸出に依存するモノカルチャー経済であり、天候や国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。	アフリカ諸国に多く見られる、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済をモノカルチャー経済と呼びます。コートジボワールではカカオ豆への依存度が高いため、生産量が天候に左右されたり、世界市場での取引価格が下落したりすると、国家の収入が不安定になるというリスクを抱えています。これに対し、先進工業国のように製品を輸出する構造や、国内ですべてを補う自給自足経済は、現在のコートジボワールの統計的特徴とは異なります。
問3	答え 1 標高が高くなるにつれて気温が低下するため	気温は緯度だけでなく地形の影響も大きく受けます。一般に、標高が100m上がるごとに気温は約0.6度下がるとされており、エチオピア高原のような高地では、赤道に近い低緯度であっても年間を通じて気温が低く抑えられます。このため、周辺の低地が厳しい暑さであっても、高地では冷涼で過ごしやすい気候が形成されます。
問4	答え 2 人口増加に伴い家畜を増やしすぎたことで、再生能力を超えて草を食べ尽くし草地を破壊すること	サヘル地域では人口の急増により、食糧や収入を得るために許容範囲を超える数の家畜（牛や羊など）を飼育する「過放牧」が行われています。家畜が草を根こそぎ食べてしまうことで、地面を覆う植物が失われ、雨による土壌流出や風による浸食が進むことが砂漠化の大きな要因です。
問5	答え 3 人口増加に伴う過放牧や、燃料にするための樹木の過度な伐採が行われたため。	急激な人口増加により、家畜を飼いすぎる「過放牧」や、生活用の薪を得るための「過度な伐採」、さらには休耕期間を短縮した「無理な耕作」が繰り返されました。これらが土地の再生能力を超えたため、植生が失われ砂漠化が加速しています。
問6	答え 2 モノカルチャー経済	多くのアフリカ諸国では、かつての植民地支配の影響により、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造が形成されました。この仕組みは、特定の作物の国際価格が暴落したり、天候不順で不作になったりした際に、国全体の経済が非常に不安定になるという大きな課題を抱えています。
問7	答え 1 モノカルチャー経済	特定の資源や農作物の輸出に頼る経済構造を指します。かつての植民地支配の影響などで、特定の作物や資源の生産に特化した歴史的背景を持つ国に多く見られます。ナイジェリアの原油やコートジボワールのカカオ豆などがその代表例です。
問8	答え 3 エチオピア	北緯9度は赤道のわずかに北側、東経38度は本初子午線（ロンドン）から東側に位置する地点を示しています。この緯度・経度の交点はアフリカ大陸東部に位置しており、この地域に該当する国はエチオピアです。中央アジアやオーストラリア、南アメリカ大陸にあるブラジルなどは緯度または経度が大きく異なります。
問9	答え 4 産出地が特定の国や地域に偏っているという特徴があり、スマートフォンや電気自動車などの先端産業を支える重要な資源となっている。	レアメタルは、その希少性に加えて、産出地が中国やアフリカ諸国、南米などの特定の国に集中しているという地理的偏りがあります。そのため、産出国の輸出規制や情勢不安が、高度な技術を要するハイテク産業に大きな影響を及ぼす「資源リスク」を抱えています。鉄鉱石のような主原料ではなく、製品の性能を向上させるために少量添加されるなど、先端技術の鍵を握る存在です。
問10	答え 2 資源の国際価格が変動することで、国の経済全体が大きな影響を受けやすい。	モノカルチャー経済は、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を指します。ナイジェリアの場合、輸出の9割以上が石油に関連する資源であるため、世界情勢の変化などで原油価格が暴落すると、国家の財政や国民の生活が極めて不安定になるというリスクを抱えています。これを克服するために、産業の多角化が課題となっています。
問11	答え 1 耕作地を広げる収穫面積の拡大と、単位面積あたりの収穫量を増やす生産性の向上の両方	アフリカ州では人口増加に伴う食料需要の高まりを背景に、新たな農地を開発して「収穫面積の拡大」を進めてきました。同時に、品種改良や灌漑（かんがい）施設の整備、肥料の導入などによって、同じ広さの土地からより多くの作物を収穫できるようにする「生産性の向上」が図られたことで、面積の増加率を上回る生産量の伸びが達成されました。
問12	答え 2 大陸西部のギニア湾付近を南北に通過する本初子午線である。	経度0度の線は本初子午線と呼ばれ、イギリスのロンドンを起点に南北に引かれている。アフリカ大陸の地図上では、西側の大きく湾曲したギニア湾付近を通るため、大陸中央部や東部を通る他の経線と区別することができる。東経135度や日付変更線（経度180度）は、アフリカ大陸からは大きく離れた東側に位置する。
問13	答え 2 アフリカ大陸	赤道が大陸中央部を通り、北回帰線と南回帰線が大陸を貫いていることから、大陸の大部分が熱帯と乾燥帯によって占められています。特に北部のサハラ砂漠などの広大な乾燥帯が面積の半分近くを占めているのが、この大陸の大きな特徴です。